

第一回ワクチン産業ビジョン推進委員会 今後の進め方に関するご意見等

- ACIP のようなものを日本で作ろうとするとどういうものにすればそのような機能が果たせるのか。
- WHO の SAGE(Strategy Advisory Group Of Expert)では、WHO がワクチンに関する議論を年2回定期的に開催し、現在使用されているワクチンの現状分析と、開発中の製品や将来的な課題について議論しており、そういった組織を参考にしては。
- 推進委員会だけでは、十分な活動が難しいので、推進委員会で新ワクチン、大人用ワクチン、小児用ワクチンなど大きなテーマを決めて、それぞれでのグループ討議を経て推進委員会に集約するということを検討してはどうか。
- 検討対象となるワクチンの選定については企業との関わりもあるので、フェアな形の選定がよいのではないか。
- 個別ワクチンの取り上げるということに問題があるなら、小児・思春期層など年齢層でワーキンググループを構成してはどうか。
- B 型肝炎ワクチンのように、ワクチンの開発成功事例が感染症対策として機能した結果、ワクチン自体の必要量の著しい低下にも結びつく。当初の開発・産業化プロセスのみでなく、普及による結果を見据えたワクチン産業・制度の根幹を議論する必要がある。